

Q 4. オンラインHDFについてもっと詳しく教えてください。

A. 当院では、オンライン HDF（血液ろ過透析）を導入しています。

できるだけたくさんの患者さんに HDF をうけてもらえるよう既に新館では20台、本館では2階27台導入し、更に今夏には個人透析機を除いて全機導入（71台）を予定しています。

透析アミロイド症の原因となる成分が β_2 MG（ベーターツーミクログロブリン）であることが証明され、通常の血液透析では除去しにくい β_2 MGなどの大きな尿毒症物質の除去が重要であると考えられ、それが可能な HDF（血液ろ過透析）が注目されました。

HDF とは、透析をしながら補液をしつつ大量に血液を濾過して、大きな尿毒症物質を除去する方法です。オンライン HDF は、透析液を補液として使用する HDF の中の 1 つの方法です。この方法は、一度に多くの患者さんに対する治療が可能であり、大量の血液濾過量の達成が可能で、しかも高い安全性が保たれています。

当院では、県内で先駆けて平成18年8月から4年間オンライン HDF 行っていました。当時はオンライン HDF の方法に国が定めたルールは無く、各医療施設でさまざまな方法で治療を行うという状況でした。そして当院においてオンライン HDF に切り替えてから透析アミロイド症の一症状である手根管症候群（手指のしびれ、痛み）の発生が著減しました。

しかし、開始して4年で国による法整備ができていないことが全国的に問題となった為中止せざるを得ませんでした。その後、平成24年4月から国により、決められた機械・決められたフィルターで、確実な水質管理のもと HDF を行う事が定められ、やっと日の目を見ることとなりました。それに伴い同年10月より当院において再びオンライン HDF を本格的に開始することとなりました。

オンライン HDF は透析アミロイド症による関節痛の改善・皮膚掻痒感の改善・貧血改善・食欲増進・イライラ感・足のムズムズ・不眠の改善・色素沈着などの症状微候についても有効性が報告されています。

そして、起きてしまった合併症の軽減だけでなく年齢の若い人はこれからの透析生活で起こることが予想される合併症を予防する意味もあります。実際、当院の患者さんの手根管症候群の手術件数もずいぶん少なくなってきています。

痛み・痒み・ムズムズ・・・などがあれば、ドクターやスタッフに相談してみてください。当院では、オンライン HDF に4種類のヘモダイアフィルター・膜面積は1.3㎡～2.1㎡から選択し、濾過量は時間当たり5L～10数Lまで選択が可能です。患者さん一人一人に合った HDF の条件を追及していこうと思います。

そして、「痛み・痒みが無くなった」「足のムズムズが無くなった」「食欲が出てきた」「よく眠れるようになった」など何か少しでも効果に気付いた方は、スタッフに教えてください。少しでも痛み・痒みなどの改善・合併症の予防に繋がればと思います。スローガンである『元気で長生き』の為、一緒に合併症に立ち向かっていきましょう。